

8月15日🌞 スケジュール

- 15:00 ~ 16:30 ヤグラ演奏会
- 17:00 ~ 17:30 踊り講習会
- 17:40 ~ 18:00 オープニング挨拶
鏡開き・装飾表彰
- 18:00 ~ 18:20 競演会
- 18:30 ~ 18:35 元唄デッコンショ披露
- 18:40 ~ 19:00 競演会表彰式
- 19:10 ~ 21:10 ヤグラ総踊り
(20:10 ~ 20:25 篠山音頭・打上花火)
- 21:10 ~ 21:15 フィナーレ打上花火



ヤグラ演奏会

市内小・中・高生による吹奏楽演奏会。
●参加校
篠山小学校
篠山中学校
篠山産業高校
篠山重晴高校(合同)



8月16日🌞 スケジュール

- 9:30 ~ 15:00 第1回デカンショカップ
(ランニングバイク競技大会)
※エントリーは終了しました
- 16:45 ~ 17:15 踊り講習会
- 17:40 ~ 18:00 ジュニア競演会
- 18:10 ~ 18:30 丹波篠山太鼓「鼓祿組」
- 18:30 ~ 18:50 ジュニア競演会表彰式
- 19:00 ~ 19:05 元唄デッコンショ踊り披露
- 19:10 ~ 20:55 ヤグラ総踊り
(20:10 ~ 20:25 篠山音頭・打上花火)
- 20:55 ~ 21:00 フィナーレ打上花火

打上花火

15・16日両日とも、総踊りの時とフィナーレの2回打上げ。合計2,000発の花火が提灯でライトアップされた会場を華やかに演出!

ヤグラ総踊り

例年、1,000人を超える人がごぞって踊るメインイベント。稚重にも適なる踊りの輪は任意。誰でも踊りに参加でき、木造ヤグラの舞台にも上ることが出来る。

競演会

踊り衣装・演出、全てにおいて洗練された最新たちの熱い戦いをご覧ください。



踊り講習会

保存会の講師が、足の運び方から踊り方を丁寧に指導してくれる。



夜店街

- 約200の酒店がズラリ川
- 時間 夕舞～21:30
- 場所 三の丸広場西側



オープニングイベント 鏡開き

丹波杜氏組合による酒づくり歌に合わせ鏡開きが行われた後は、地酒のふるまいもある。

あんどん祭と装飾コンクール

市内小学4・5・6年生による絵があんどんになって城下町を照らす「優秀作品は大正ロマン館前に展示して発表。各商店街では地元氏方が趣向を凝らして街を装飾。ときには祭の隠居を離れ、履たつぷりのまち歩きもいっかが。●時間 終日

ジュニア競演会

可愛らしく、元氣いっぱいのデカンショキッズたちの踊りにあたたかい声援を!



第39回ユニトピアささやま サマーカーニバル

2014年
8月13日(水)

入場料 1,200円(前売 1,000円)

今年も大迫力の花火をお楽しみください。

有料休憩所のご案内

三の丸広場踊り会場北側に木造規規寛席をご用意いたしました。全席テーブル付きですので、祭も花火もゆつりと楽しめます。ご家族・ご友人同士でぜひご利用ください。(飲食可)

1席 2,000円

有料休憩所 祭典本部 有料 休憩所 1席 1,000円

チケットは当日休憩所入口にて販売いたします。

ご予約・お問合せは ☎079-552-0758

ヤグラ

・花火打上場所

デカンショグッズ 販売中!

大正ロマン館や丹波篠山観光協会、TSUTAYA篠山店(CD・DVDのみ)などで販売しています。



デカンショTシャツ 3,000円

デカンショ CD・DVDセット 2,500円

デカンショ手ぬぐい 500円

平成二十五年年度 日本デカンショ節大賞 受賞作品
遠く離れて、デカンショ唄う
丹波篠山 おらが郷 (神戸市 酒井彬)
平成二十六年年度受賞作品は八月八日発表!
受賞作品は、デカンショ祭当日の総踊りでも披露されます。

デカンショ節の由来

デカンショ節は、江戸時代中期から篠山地域で歌われていた「みつ節」が変形したものであると伝えられている。「みつ節」は、当地方にのみ歌われていた盆唄り唄で、節はほぼデカンショ節と同じだが、囃しことが「デッコンショ」と囃されていた。そして封建時代、清貧にあまじい住民たちの唯一の娯楽として育てられ、歌い、踊りつづけられてきた。特に明治以降は、篠山出身の若者たちが東京での遊学中に、この盆唄り歌を通じて、旧制一高(現東京大学)水泳部員らと意気投

合し、それがきっかけで学生歌として多くの学生たちに愛され、広く歌われ、全国に普及し、ユニークな民謡としての立場も築いている。「デカンショ」の由来は、学生歌という経歴を持つことから、哲学者の「デカルト」「カント」「ショーペンハウエル」の略であるという説、他に丹波杜氏のふるさとという意味からも「出稼さしう」からきたという説、「デコンショ」という盆唄り歌からきたという説、「ドッコイショ」が転訛した説などがあるとされている。